

事業区分
金銭給付

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名	学校保健会助成				所管	教育委員会	
						学務課	
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始]	年度	[終了予定]	-	年度
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区学校保健会補助金交付要綱			
	事業対象	台東区学校保健会					
	事業目的	台東区学校保健会へ助成をすることにより、学校保健の研究並びに普及啓発を図る。					
	事業内容	当該年度の予算の範囲を限度とし、学校保健行政並びに関係団体への協力、健康教育の実践普及、学校保健の研修、健康づくり努力児童並びに健康優良校の審査、学校保健に関する調査等に係る経費の3分の2以内を台東区学校保健会へ助成する。					
	委託の有無	なし	委託内容				
	補助金の有無	なし					
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度
	活動指標	助成件数	件	1	1	1	1
		成果指標	事業数	数	125	133	121
	決算額 (単位：千円)				680	680	680
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			1,250	1,704	1,700
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			680	680	680
		総経費			1,930	2,384	2,380
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0
一般財源(区負担額)			1,930	2,384	2,380		
前回評価から改善した事項	理事会等で報告する内容等を精査し、会議体の効率的な運営を実施した。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	3	学校保健会への助成により学校保健を普及発展させることは、児童・生徒・幼児が健康に成長するうえで必要不可欠である。				
	効率性	3	学校医、学校歯科医、学校薬剤師、校長、保健担当・養護教諭、PTA等その他学校保健の振興に関連するものの活動の場となっている。				
	手段の適切性	3	学校保健会への助成は、学校保健の普及発展へつながる手段の一つとして有効であり、今後も引き続き事業を継続していく。				
	目的達成度	3	学校保健に関する各部会での活動数は安定し、概ね目標は達成されている。				
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性		
学校保健の普及発展の場としての学校保健会は、必要不可欠であるため今後も学校保健会への助成は継続していく必要がある。					維持		
				拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			